



特定非営利活動法人 全国女性会館協議会 第 68 回全国大会 in 山形 2024
& チェリアフェスティバル山形 2024
実施報告書

1	日 時	2024 年 11 月 9 日 (土) 13:30~17:05、11 月 10 日 (日) 9:30~16:00
2	会 場	山形県遊学館 (山形県生涯学習センター、山形県男女共同参画センター)
3	主 催	特定非営利活動法人全国女性会館協議会、チェリアフェスティバル山形 2024 実行委員会、山形県、公益財団法人山形県生涯学習文化財団 (山形県男女共同参画センター)
4	協 賛 寄 附 協 力	<p>協賛：40社 日本テトラパック株式会社、株式会社山形銀行、株式会社荘内銀行、株式会社きらやか銀行、株式会社山形新聞社、J A 山形中央会、社会福祉法人敬寿会、山形県信用保証協会、一般社団法人山形県建設業協会、山形県さくらんぼ&フルーツ P R 協議会、山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部、山形建設株式会社、高島電機株式会社、スズキハイテック株式会社、株式会社大風印刷、藤庄印刷株式会社、有限会社佐藤税務会計事務所、山形県信用金庫協会、J A やまがた 山形農業協同組合、J A 山形市、公益財団法人やまがた農業支援センター、公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構、山形県すまい・まちづくり公社、公益財団法人山形県建設技術センター、株式会社千歳建設、株式会社ヤマコー、山形放送株式会社、株式会社テレビユー山形、山形いすゞ自動車株式会社、税理士あさひ会計、株式会社エム・エス・アイ、株式会社溜々堂、一般社団法人山形県医師会、公益社団法人山形県看護協会、山形県中小企業団体中央会、山形県商工会議所連合会、山形県商工会議所女性会連合会、山形県商工会連合会、一般社団法人山形県測量設計業協会、認定特定非営利活動法人やまがた育児サークルランド</p> <p>寄附：14 団体 27 個人</p> <p>協力：山形県立図書館</p>
5	主 題	認め合い支え合い とともに歩もう多様性社会
6	募集方法	<p>① 会員館への要項・参加申込書のメールリストでの配信</p> <p>② チラシ・ポスターの配布 (チェリア登録団体・チェリア修了生・県・市町村等)</p> <p>③ 市町村広報誌に掲載、広報誌「チェリア 70 号」に掲載</p> <p>④ ラジオ、コミュニティ紙での PR、新聞掲載等</p> <p>⑤ SNS (ホームページ、facebook、X 等)</p>
7	1 日目 プログラム	<p>11 月 9 日 (土) (会場参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催)</p> <p>① オープニングセレモニー 山形大学花笠サークル「四面楚歌」による花笠踊り</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

② 開会行事



◆主催者挨拶

※敬称略

山形県知事 吉村 美栄子

全国女性会館協議会 代表理事 納米恵美子

チェリアフェスティバル山形 2024 実行委員会委員長 石澤 多貴子



◆来賓挨拶

内閣府男女共同参画局 局長 岡田恵子

文部科学省総合教育政策局 局長 茂里 毅



③ イチオン事業大賞表彰式

・表彰（全国女性会館協議会 代表理事 納米恵美子 ）

・目録（日本テトラパック株式会社 コミュニケーション部 マネージャー 毛受 彩 ）

大 賞：静岡市女性会館 「すきを見つけるアートワークショップ」

2 位：大田区立男女平等推進センター「女性リーダー養成講座『今日から始める！私サイズの社会参画』」

3 位：大阪市立男女共同参画センター「プレパパ応援！パパのための出産準備講座」

千代田区男女共同参画センター「地域で区民と共に作る・広げる『国際女性デー』キャンペーン」



④ 基調講演

「地域経済と女性～若年女性の人口流出をどう止めるか」

基調講演 講師：林 伴子氏（内閣府政策統括官）



⑤ パネルディスカッション

テーマ：「女性が暮らしやすく働きやすい地域とは？」

パネリスト：能條 桃子 氏（NO YOUTH NO JAPAN 代表）

堀江 龍弘 氏（株式会社ホリエ代表）

日下部 優佳 氏（山形大学理学部2年）

中田 歌穂 氏（東北公益文科大学公益学部2年）

コメンテーター：林 伴子 氏（内閣府政策統括官、基調講演講師）

コーディネーター：伊藤 眞知子（山形県男女共同参画センター館長）





⑥ 情報交換会

遊学館 1階 イルブル 参加者 64名

2日目
分科会

11月10日(日)

① 分科会

◆分科会1 (会場参加のみ)

「ジェンダー視点からみた地方若者の生きづらさとは？」

・事例報告者 Sisterhood 代表 小笠原 千秋

・事例報告者 居場所と学びの場づくり「ぶらいず」
相談役 松井 愛



全体会

チエリアフェ
スティバル

◆分科会2

みんなの意識にジェンダーの視点を ～ジェンダーカードの可能性～

・事例報告者 山形県男女共同参画推進員
石澤 治雄
・事例報告者 山形県男女共同参画推進員
松田 治美



ワークショップ

◆分科会3

防災・減災とジェンダー ～男女共同参画センターで何ができるのか～

・事例報告者 富山県女性財団事業課長 牧野圭子
・事例報告者 川崎市男女共同参画センター
館長 脇本 靖子
・事例報告者 鶴岡ナリワイプロジェクト代表
井東 敬子



② 全体会 全国女性会館協議会より事業説明と連絡

(2024 年度事業報告、次年度事業計画概要、全体女性会館協議会今後のあり方検討、その他)

③チエリアフェスティバル ワークショップ

◆「きいて、はなして、知ろう！摂食障害のこと」 桜桃 (チエリア) の会 晴れときどき雨の会

◆自作のビデオ作品の公開 山形シネマクラブ

◆考えよう！デートDV 山形県人権擁護委員連合会 男女共同参画委員会

◆あなたのそばに助産師がいます (一社)山形県助産師会

◆丹田呼吸法で心と体を元気に！ 日本丹田呼吸法セラピー協会

◆CAP大人ワークショップ CAPやまがた

8	県民交流 コーナー	◆農産物・加工品販売 やまがた農業女子ネットワーク ◆フリーマーケット 国際ゾンタ山形ゾンタクラブ ◆新米つや姫販売・活動展示 つや姫ヴィラージュ ◆古書販売 (特非) Sisterhood ◆パステル画体験 だがしや楽校パステル倶楽部
9	展示・発表	遊学館及び山形県郷土館「文翔館」ギャラリー等での展示・発表 14 団体
10	参加者数	11月9日(土) 全国大会 1日目 ・基調講演会場参加者数 251名(会館協議会 69名、一般参加者 182名) ・オンライン参加者数 34名 ・会員館数 31館 11月10日(日) 全国大会 2日目 (会場参加者) ・分科会1 29名 ・分科会2 41名 ・分科会3 35名
11	感想 アンケート	(1) 基調講演及びパネルディスカッション等のアンケートの状況について ○県内者アンケート 女性57名、男性21名、答えたくない1名 回答なし0名 計79名 感想 ①とてもよかった59名 ②よかった12名 ③普通3名 ④よくなかった0名 回答なし5名 ・林先生のお話は良くわかり、我が国の現状を認識し、少しでも解決に向け努力すべきと思いました。 ・パネルディスカッションでは政治、仕事(経済)、若者とバランスがありつつ、いずれも重要なキーになる視点からのお話で大変参考になりました。 ・パネルディスカッションで若い方達の話がとても良かった。この年代が社会の中心になった時に、今よりジェンダーギャップが上になっていることを願う。 ○県外者アンケート 女性31名、男性4名、答えたくない0名、回答なし6名 計41名 感想 ①とてもよかった35名 ②よかった3名 ③普通0名 ④よくなかった0名 回答なし3名 ・林先生の講演は大変説得力がありました。「男女共同参画は規範」、よい言葉です。パネルディスカッションおもしろかったです。 ・性的少数者や性暴力サバイバー、インターセクショナルな視点がもう少し欲しいと思いました。 ・論点が明快で素晴らしい内容でした。社会は変えられる!!というメッセージ元気が出ました。 ・林さんのお話、とてもよかったです。熱い気持ちと共に。能條さんはユーモアがあってよいですね。 ・大学生の日下部さん、中田さんの交互に話すやり方、内容も良かった。 ・堀江さんの話は地域性を感じられて山形まで来たかいがありました。 ・パネリストの方が社員を「女の子」、「ママさん」呼ばわりはどうなのでしょう。

		<p>(2) 分科会のアンケートの状況について</p> <p>女性 39 名、男性 9 名、答えたくない 0 名、回答なし 3 名 計 51 名</p> <p>感想 ①とてもよかった 37 名 ②よかった 9 名 ③普通 1 名 ④よくなかった 0 名 回答なし 4 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加された皆さんとのグループワークで、いろいろな事例を聞いて良かったです。(分科会 1) ・ジェンダーカードのような遊んで学べるものを作りたいと思ったので大変参考になりました。(分科会 2) ・ジェンダーカードは、使ってみて理解が深まり、ユース版は特に感激しました。(分科会 2) ・様々な視点から危機管理、男女共同参画の視点を知ることができました。今後につなげていければと思いました(分科会 3) ・被災した人にしかわからないことがたくさんあるので、こういう機会は有効だ。(分科会 3)
<p>主催者 感想</p>		<p>このたびは、第 68 回全国大会 in 山形 2024 にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。山形県では、初めての全国大会であり、2 日間の会場での大会運営が無事に終わられたことに職員一同、安堵しております。</p> <p>山形県男女共同参画センターでは、毎年登録団体・グループの活動の発表の場としてチエリアフェスティバルを開催しており、今年は全国大会との合同での開催でした。</p> <p>山形県男女共同参画センター「チエリア」では、この大会を契機に山形県男女共同参画センターの取り組みを多くの県民の方々に知っていただく機会を得るとともに、北は青森県から南は沖縄県の各センターの方が参加され、チエリアの実行委員の方々と交流できたことは大きな成果と思っております。</p> <p>基調講演の講師に、内閣府政策統括官の林伴子さまから「地域経済と女性～若年女性の人口流出をどう止めるか」をテーマに、その後のパネルディスカッションも 4 名の若手パネリストが基調講演の流れを受けて「女性が暮らしやすい地域とは？」をテーマに活発な発言をいただきました。全国の男女共同参画センターをはじめとする参加者の方々から「楽しかった」、「たくさん学んだ」など大変好評を得ました。</p> <p>翌日の 3 つの分科会も定員をオーバーする申込みがあり、各分科会とも熱心なグループワークが展開され、大会後も県内外の方からジェンダーカードの問合せがあるなど大きな反響がありました。</p> <p>また、大会の開催にあたっては、多くの企業・団体・個人の皆様からご協賛・ご寄附をいただき、円滑な大会運営を実施することができ、大変感謝でいっぱいです。</p> <p>最後に、ご支援を賜りました全国女性会館協議会はじめ関係各所の皆様に心より感謝の気持ちを伝え、来年度の大田区立男女平等推進センターでの全国大会の盛会をお祈り申し上げます。</p>